

2021 年度 但馬定住自立圏共生ビジョン懇談会（但馬分科会）
会議録（要旨）

日 時	2021 年 11 月 22 日（月） 但馬分科会 14:00 ～ 15:00
場 所	豊岡市役所 3 階 庁議室
出席者	但馬分科会 9 名中 7 名
◎協議	
分科会長	協議事項の「(1) 第 3 次但馬定住自立圏共生ビジョンの策定について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<説明> 【第 3 次共生ビジョン（案）の策定について】 【芸術文化観光専門職大学との連携について】
分科会長	第 3 次共生ビジョンの策定についてですが、ビジョンの 11 ページの「形成協定の内容」というのが、協定項目です。この協定というのは、もし変えようとなるとそれぞれの市町の議会の議決が必要となってきます。施策単位の目標であるとか具体的な取り組み内容は協定からは外れますので、今回の懇談会では但馬内の定住人口の増加に向けたことや、第 3 次ではこういった項目について取り組んではどうかといったことについて、皆さんに意見をお願いしたいと思います。
委員	三点ほど確認をさせていただきたいのですが、まず病院の関係です。先だって病院の会議がありましたが、医療費の未回収分について、支払い能力があるのに支払わない方と支払いのできない方で対応は分かれてきますが、その回収を病院側に任せっぱなしにするのか、このビジョンの中で何か方法を策定されるのかということが一点。 それから、周産期死亡率の目標値が今回頂いたビジョンでは空白になっていますが、第 2 期では 3.3 人になっています。この数字は低いほうが望ましいということで、このビジョンの中で何か方法の策定もお願いしたい。 三点目は、今回触れられませんでした。路線バスの活性化。朝来市もコミュニティバスが走っていますし、全但バスも走っていただいています。しかし、バス停まで行けない方もいらっしゃる。そうなれば、介護タクシーや一般タクシーの利用になってしまう。ここに書いてあるようにバスで和田山まで行って、そこから豊岡病院に行ったり豊岡で買い物をしたりできますが、最寄りのバス停まで行けない方が私の近辺にもいらっしゃるんです。 もし書いていただけるのであれば、この三点だけよろしくお願いしたいと思います。
分科会長	事務局では専門的な内容について回答できないと思いますが、こういった意見が出たということで、これからどう対応すべきなのかお聞かせください。
事務局	一点目の医療費の未回収があるということにつきましては、今日、委員はご欠

席ですので、意見があったということは豊岡病院のほうに伝えさせていただくということでご理解いただきたいと思います。

二点目の周産期医療の指標となっています死亡率ですが、これは当然低いほうがよろしいかと思えます。ただ、成果を計るのにこれが本当に適切かどうかというところもありますし、こちらの指標のほうがいいのではないかという意見がありましたらまた頂きたいと思えます。死亡率を設定するのであれば低いほうで設定したいと思えます。

路線バスにつきましては、定住自立圏というエリアの中で中心市と各市町を結ぶようなネットワークが基本となりますので、当然どこの市町でもバス停までの距離というのはあると思えますが、この定住自立圏という中ではつなげにくいのかなと思っています。

分科会長

問題提起があったということで、事務局のほうで関係機関と調整をしてもらいますが、やはりこれにはふさわしくないですねという結論になるかもしれませんし、ものによっては協定では無理でも項目で加えようということも十分考えられますので、そういった観点からぜひご意見をいただきたいと思えます。

ほかにございませつか。今すぐ出ないようでしたら、会議のあとに各委員さんからファクスで事務局のほうにお願いしたいと思えます。

では、「(2) スケジュール」について事務局から説明をお願いします。

事務局

<説明> 【第3次共生ビジョン策定の今後のスケジュールについて】

分科会長

スケジュールについて、基本的には今日出された意見を整理して、次回の2月中旬の懇談会では各市町でのすり合わせもほとんど終わって策定のほぼ直前となるわけです。そこで「やはりこの項目は」というのがあれば、反映することは可能ですか。

事務局

どんな意見かにもよりますが、反映できるところはしたいと思えます。

分科会長

ほとんど固まっている内容について物申すわけなので、また関係市町での調整が出てくると思うけれども、そこは判断してもらって、懇談会としてこれは絶対入れてくれということだったら、そこは前向きにお願いします。

事務局

本日は当日配布になり申し訳なかったですが、なるべく早めに事前配布をさせていただいて、意見を出しやすいようにしたいと思えますし、反映もできる範囲でさせていただければと思えます。

委員

事業費の予算が今は白紙だが、2月の段階では数字が入ったものが出てくるということですか。

事務局

その予定にしています。

委員

その数字の検討というのはここではやらない。

事務局

数字は各市町で考えられている数字を入れるということです。

委員

わかりました。

委員

但馬定住自立圏というのは、但馬にたくさん住んでいただく、そしてまた交流もあるというのが目的だと私は思うんですが、豊岡市のメインストリートにもシャッター通りという状況があります。日本全国の方が豊岡に行って何かし

分科会長
事務局

てみたいなどというような作戦があつてしかるべきではないかなと。この会議にも忙しい中みんな来ていますからね、お互いディスカッションしながら実のある会でなければ何にもならないと思うんです。私はそれに尽きると思います。

すごく貴重な意見であつたと思います。

まさにこれは各市町が議会を通じて協定として形のあるものになっています。なので、3市2町が連携して但馬を盛り上げるということの現れがこの定住自立圏で、豊岡市が中心とはなっていますが、各市町が公にやっているということでまさに実のあるものというか、大きな枠組みとしてはできていると思っています。

あと、それぞれの個別の項目については、それぞれ観光の集まりですとか農業の集まりというのは連携ができていて、形になっていると思います。ここには観光の振興というのは1ページしかないのですが、これについてはもっとたくさん観光協会などでもやっていると思いますので、この定住自立圏では大きな枠ということにとらえていただければと思います。

委員

医療のほうでも、但馬の中で各病院が機能分担していて、豊岡病院は急性期に特化していて、八鹿病院は急性期から在宅までという形で動いています。その中で医療関係や介護・福祉関係もそうですが、医療人材の不足に悩んでいます。この定住自立圏構想の中でそういった人材確保というか、定住されれば人材の確保もできると思うのですが、そういったところも取り入れていただければありがたいです。介護のほうも多分人材不足に悩んでいらっしゃると思っています。

委員

それぞれの市町で事業の予算を立ててということですが、ここの事業費というのは例えば新温泉町がこういう事業をするといったら、この定住自立圏の中から事業費を出しているということですか。

事務局

この定住自立圏で予算を持っているということではありません。それぞれの市町がビジョンに書いてある事業を、それぞれの市町の予算で実施されるということと、3市2町で連携をしているという姿勢を見せているということです。

委員

資料を見ても人口減ばかりが何ページも書いてあつて、だとしたら男女の出会いのようなところを但馬全体で力を入れてやるとか、何かひとつの目安になるものがあつたほうがいいのではないかと思います。最近は政治でも人口減少対策ばかりが出てきている。今の時代の流れとしてはやはりそこに焦点を当てているということなので、男女の出会いの機会といったことを但馬全体でもっと連携してやる方法を見出していったらいいのではないかなと思うんですがね。

分科会長

市や町もそうですが、但馬内の社協でも結婚相談のような取組みはされていますよね。また市町は市町でやっているんですかね。

委員

われわれの町はなかなか難しく、県の事業や鳥取の麒麟のまちの事業だけで、町独自というのはいないんです。麒麟のまちのほう割と積極的に、コロナで中止にはなりましたが牧場公園で出会いのイベントをやろうとかやっています。

す。正直なところ、我々の町から登録しているのかと言ったら、ほんのわずかしが登録していないんです。よそには登録しているのかもしれませんが、地元というのはなかなか難しくて。これを登録しやすい雰囲気をも但馬全体で作り上げていくことができればいいなと思います。

委員

先ほど意見が出ましたが、コロナ禍の中で医者がない、看護師がない、介護士がないという言葉がずいぶん聞きます。やはり安心して診ていただける医療体制というのを、項目がある以上は真剣に考えていただきたいと思えます。

委員

最近県の野生鳥獣の研修センターの方とお話する機会がありました。南但のほうのシカとかイノシシは、南に行くか北に行くかして、だいたい数が少なくなってきました。北部のほうに移動していて、そちらが多くなっていると。また、南のほうではクマの出没回数が増えていて、どうも移動しているんじゃないかと言われました。たしかに南但のほうではここ数年シカの捕獲頭数が少なくなってきましたので、実際に少なくなっているのかなと思っはいるのですが、いないというわけではないので、被害対策としては捕獲を続けなければならないんだろうなと思っています。

野生動物の移動ということを従来は考えていなかったのですが、そういうことが実際にあるのであれば、広域的な捕獲体制についての連絡会か何かを作って話し合いをしていかなければならないのかなと。将来、ほかの地域からの応援をもらって捕獲頭数を上げていくようなことも必要になってくると思っはいます。ただ、定住自立圏にそういったことを盛り込むのは非常に難しいことなので、とりあえずは但馬全体で捕獲頭数を上げていくという考え方でいいと思っはいますが、実際にはそういった野生動物の移動ということが始まっていて、今後は移動していなくなる場所と増える場所が極端に出てくるということも無きにしも非ずかなと思っはいます。

それと、特に農林事務所のほうから言われているのですが、鳥インフルエンザと豚熱、昔は豚コレラと言われていましたが、野生動物を介しての病気ですね。この間は姫路のほうで鳥インフルエンザが出て、何十万羽の鶏を処分したということですが、姫路で出て但馬で出ないという理屈はないので、但馬でも出てくる可能性は十分あるでしょうし、その時の体制はどうなるんだろうなと思っはいます。

それから、イノシシを媒介とした病気なのですが、東北のほうから京都を過ぎて、今は丹波篠山まで発生が確認されています。すぐそこまで来ていますので、もしそういったことが但馬地域で発生したとなると、そこに人間が入って狩猟することができなくなります。シカにはかからない病気なので、シカは獲ってもいいと言われてはいますが、人間がその山に入るとその菌を持って外に出てくることになって、山に行くたびに完全消毒しなければならないというようなことがあるみたいなので、なかなか山には入って行きづらくなるということですね。もしそういったことが発生することになれば、コロナではないですが、大

変なことになってくるのかなと思ってまして、狩猟についてもいろいろと問題点はあると思っています。

とりあえず今はハンターの方々に頑張って狩猟をしていただいていますので、例年通りの活動はできるのではないかなと考えています。今回のビジョンに改めて入れるということはないと思いますが、中にはいろいろな問題を含んでいるということを皆さんにもご承知いただければありがたいと思います。

委員

私はこのメンバーの中に但馬区長会のほかの区長がメンバーに入っているとばかり思っていたんです。区長は私だけなんです。これは5年間の計画期間がありますね。ですが、私は3月末で区長を退任する予定です。選任にあたっては、2年3年と継続して足を運ばれる委員さんを選定する、役職にこだわらず市町の代表の方を選任されるほうがベターだと思います。

分科会長

それでは、委員さんからは一通り意見を言っておきましたので、但馬県民局から会議の感想やコメントがあればお願いしたいと思います。

但馬県民局

但馬全域が同じ方向を向いている良い地域だなと思っています。この定住自立圏共生ビジョンというのは、意見を出し合ってみんなで良い方向に持っていく、いい場だなと思っています。

これから3次の共生ビジョンを策定されますが、県民局としてもそこは同じ地域ですので、一緒にやっていきたいなと改めて感じました。

分科会長

各委員さんからずいぶん意見を頂きましたので、今日は言えなかったということは、先ほども言いましたが事務局のほうにファクスでも電話でもお願いしたいと思います。

事務局

<説明> 【次回のビジョン懇談会の予定について】